

平成27年度 学校関係者評価委員による学校評価のまとめ

平成27年度も学校教育目標である「知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子どもの育成」にむけ、教職員一丸となって取り組んでまいりました。また、1学期末に実施した保護者アンケートの結果を受け、教育活動を行ってきました。学年末にあたり本校職員が自己評価をした総合評価が適切であるか、学校関係者評価委員の方に評価していただいたところ、以下のようになりました。

<p>1 資料について ○ 学校の自己評価の観点 【 A：ほぼ達成（90%以上） B：おおむね達成（80%） C：やや不十分（60%） D：不十分（50%以下） 】</p> <p>2 評価者による評価について ○ 評価欄にA B C Dの評定を記入してください。 【 学校の自己評価が妥当である → 学校の自己評価と同じ評定 】 【 努力や成果が見られる → プラス評定をつける （例） D→C C→A B→A 】 【 不十分な点がある → マイナス評定をつける （例） A→B A→C B→C 】</p> <p>3 意見欄に成果、課題、ご意見、お気づきの点等を記入してください。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: small;"> <自己採点の算出方法> (例) A + B → 44 + 45 = 89 総合評価 → B とする。 </div>
---	---

No.	内 容	A	B	C	D	総合評価	評価者による評価
I 進んで学ぶ子（知）							
1	子どもたちの学力は、身につけていますか。	30	70	0	0	A	妥当である 5
2	子どもたちは、毎週配付される学習予定表をよく利用していますか。	70	30	0	0	A	妥当である 5
3	子どもたちは、家庭学習の時間のめやす以上（低30分、中45分、高60分）取り組んでいますか。	60	30	10	0	A	妥当である 4 不十分な点がある 1
4	子どもたちは、学校の勉強がよくわかっていますか。	10	70	20	0	B	妥当である 4 努力の成果が見られる 1
5	教師は、分かりやすく工夫して教えていますか。	40	60	0	0	A	妥当である 5
II 心豊かな子（徳）							
1	子どもたちは、家庭や地域の中であいさつがよくできていますか。	30	50	20	0	B	妥当である 3 努力の成果が見られる 2
2	子どもたちは、家庭で英語や外国の文化について話題にしたことがありますか。	30	70	0	0	A	妥当である 5
3	子どもたちは、いじめのない楽しい学校生活を送っていますか。	40	50	10	0	A	妥当である 5
4	学校の教室・廊下・校庭等がきれいになっていますか。	60	40	0	0	A	妥当である 5
5	教職員は、あいさつや電話対応が適切ですか。	80	20	0	0	A	妥当である 5
III 明るくたくましい子（体）							
1	子どもたちは、家庭や地域で体を動かして遊んだり運動したりしていますか。	40	40	20	0	B	妥当である 5
2	子どもたちは、早寝早起きなど規則正しい生活や食の大切さ（好き嫌い、マナー、感謝の心）が身につけていますか。	40	50	10	0	A	妥当である 5
3	子どもたちは、交通ルールを守り登下校や正しい自転車の乗り方ができていますか。	40	60	0	0	A	妥当である 5
4	子どもたちは、自分のめあてをもち、学校の学習や行事に一生懸命取り組んでいますか。	70	30	0	0	A	妥当である 5
5	教師は、子どもたちの体力向上に向け、熱心に取り組んでいますか。	50	50	0	0	A	妥当である 5

IV 自由記述（その他お気づきの点がありましたら、ご記入ください。）

- ・近所の子供達の「あいさつ」が、1年生の時は小さい声だったのが、学年が上がるごとにはっきりと声も大きくなりとても頼もしく感じられるようになりました。
- ・先生方のご努力に頭が下がります。大人の社会でも評価ということは大事なことです。それにとらわれすぎず、少し気に留めて実力を養っていくことが大切ではないかと思います。
- ・子供達は概ねよく努力しているようですが、親の立場からすると、さらなる高みを目指し自ずと評価も厳しくなっていると思われ。英語については、今年度、発表や活躍の場を広げ、ネイティブな発音にも抵抗なく慣れ、発音しているのには驚くばかりでした。聞く・話すからの英語教育を小学生から入れることの重要性を改めて認識しました。